

# 「小説家、どうやって話を考えるの？」 佐原ひかり

## 【もくじ】

1. 自己紹介
2. 小説家になるには？
3. 小説家の仕事
4. どうやって話を考えるの？
5. どうやって言葉を選ぶの？
6. おまけ

## 1. 自己紹介

1992年、兵庫県生れ。京都市在住。2017年、第190回コバルト短編小説新人賞を受賞。2019年、第2回氷室冴子青春文学賞大賞を受賞。単著は『ブラザーズ・ブラジャー』『ペーパー・リリイ』『人間みたいに生きている』、共著に『スカートのアソロジ』『雨の中で踊れ』『嘘があふれた世界で』など。☆5/29に新刊『鳥と港』刊行予定！

## 2. 小説家になるには？

- ①新人賞に応募(出版社主催、地方文学賞)
- ②WEB投稿(カクヨム、なろう、エブリスタ、野いちご などなど)
- ③その他

そもそもどこからが「小説家」…？ ジャンルってなに…？

## 3. 小説家の仕事

### ■依頼の流れ(※佐原ひかりの場合)

2021年6月に『ブラザーズ・ブラジャー』を刊行！

→出版元の河出書房新社の編集担当さんを通じて、各社から依頼の連絡がくる。

→それぞれの担当さんと連絡を取って、書くものや書く順番を自分で決めていくことに。

### ■書き下ろし？ 連載？

・書き下ろし → 原則どこにも発表せず、いきなり本に。

・連載 → 文芸誌やWEBサイト、新聞で連載。それをまとめて本にしたりしなかったり。

## ■お金のこと

・印税…本を刊行したときにもらえるお金。定価×刷部数×10%(※)

例)1500円の本を5000部(冊)刷った

→ $1500 \times 5000 \times 10\% = 75$ 万円が印税収入

その後、重版がかかるたびに、上記の計算で収入が発生する。

・原稿料…小説がなにかしらの媒体に載ったときにもらえるお金。

400字詰め原稿用紙1枚につき〇円、という計算方法が多い？

(佐原の場合)2500円~7500円ぐらいの幅を経験。

## ☆2023年度(2023年1月~12月)の佐原の作家業の収入

・小説の連載を4本(月刊1本、季刊1本、不定期2本) ※2~3ヶ月休筆期間あり

・単著の刊行はゼロ、共著は1冊

・短篇が数回雑誌掲載

・単行本の重版が2回

トータルで…〇万円!

## ■空想が書店に並ぶまでの、作家の動き(ベーシックパターン)

担当の編集さんと「なに書きます?」と打ち合わせ

→お話を考えて、プロット(小説の見取り図)を作成・提出

→OKが出たら書き始める(「初稿」を書く)

→書けたら提出、必要な場合は「改稿」も

→OKが出たら校正作業に(「初校」を手直しする)

→刊行日、装丁、帯、価格、部数、サイン本の数などが決まっていく。

イベントや取材対応など、宣伝協力(俳優さんの番宣的な)

→発売当日を胃痛で迎える

#### 4. どうやって話を考えるの？

☆お話しのお考え方は人それぞれ…

(「考える」と「出力する」はまた別、という問題も)

正直わたしも教えてほしい！ところですが…

佐原の場合…

- ・「自分が今まで読んできておもしろかった/刺さったモチーフ」から考えたり
- ・自分だったらこうするのに…もひとつの考え方(佐原版「〇〇」)
- ・おもしろい「関係性」からとっかかりをつくる
- ・起承転結を一度考えて、「結」の部分「承」や「転」に持ってこられない？
- ・書きたいシーンを考えて、その場面にいる人たちのそこにいたるまでの話を考える
- ・主人公のおかれている状況、人間関係から話を広げる
- ・詩や歌から着想を得ることも
- ・自分の経験を削り取って使うことも

など？

とりあえずいったん、放り込めるだけ鍋に具を放り込んでみて、

その後、それぞれの鍋に必要な具だけ残して味付けしていく……感じかもしれません。

たとえば。。

#### ■ブラザーズ・ブラジャー(河出書房新社, 2021年6月刊行)

(あらすじ)父親の再婚で新しい母と弟と暮らすことになった、高校1年生のちぐさ。ある日、義理の弟・晴彦がブラジャーを着けているところに遭遇して……。

→義理の姉弟もの、ステップファミリーものが書きたいなあ、というところから出発。

「異性装」に関心もあった。「多様性」ということばの扱われ方にも疑問が。

#### ■ペーパー・リリイ(河出書房新社, 2022年7月刊行)

(あらすじ)結婚詐欺師の叔父に育てられている高校2年生の杏。ある夏の朝、叔父に300万円を騙し取られた女性・キヨエが家にやって来た。杏は「あるもくろみ」のため、家から500万円を持ち出し、キヨエと一週間限定の旅に出る。

→風景描写をたくさん書きたい！→なら、ロードノベルもの？「ペーパー・ムーン」や「テルマ&ルイズ」のようなロードムービーも好き。年の離れた女の人ふたり組も書いてみたい。

■人間みたいに生きている(朝日新聞出版, 2022年9月刊行)

(あらすじ)「食べること」に嫌悪を覚えている高校2年生の唯。みんなが幸せに感じることを幸せに思えず、孤独に苦しんでいた唯は、ある日初めて自分の居場所を見つける。そこは食べ物の臭いが一切しない「吸血鬼の館」だった――。

→洋館が書きたかった。「吸血鬼もの」も。「食」と「人間関係」の深すぎるつながりにも違和感をおぼえていた。デビュー作は年上の少女と年下の少年、2作目は年上の女性と年下の女性。3作目で年上の男性と年下の少女も書いてみたかった。

■鳥と港(小学館, 2024年5月刊行予定)

(あらすじ)大学卒業後に入社した会社を九ヶ月で辞めてしまった、みなと。「やりたいこと」がわからないまま過ごしていたみなとだが、文通を通じて知り合った高校2年生の少年・飛鳥から提案され、「文通屋」を仕事にしようと試みていく――。

→打ち合わせの中で発案パターン。衣食住は書いた(書く予定がある)。「仕事」はまだ。書いてみる? 自分自身、友だちとの文通経験、9ヶ月で会社を辞めてしまった経験が有。それをエッセイに書いていた。そこからつなげて小説に。

5. どうやって言葉を選ぶの?

- ・漢字のまま? それともひらがな? カタカナ?
- ・「表記コレ」「ひらく」を上手くつかう

【資料①】(『ペーパー・リリイ』初校ゲラ(河出書房新社刊)より。)

- ・話しことばと書きことば。登場人物の性格。正しくなくても…

【資料②】(『ペーパー・リリイ』初校ゲラ(河出書房新社刊)より。)

- ・リズム、見た目、も大事
- ・ことばが与える印象に注意をほらう。蓋は「あける」? 「めくる」?

【資料③】(「STORY BOX」2024年2月号「鳥と港」第7回ゲラ(小学館)より。)

- ・比喩で「抜け」と「タメ」をつくる(伝わるギリギリを攻めたい…)
- 例:「音の出どころを探す」→「音の首根っこを掴む」(『鳥と港』(小学館)より)
- ・登場人物が感じたこと/考えたことを「登場人物のことば」で表現するのが大事?

☆(わたしにとって)小説を書くということ

=頭の中で見えているシーンを、ことばにできるところからことばにしていく作業。

そのため、ことばにできないところはダミー(○)で代用して、後で穴埋めをする書き方をとっています(これは小説家の中でもかなり特殊なやり方らしいのですが、…)

【資料④】書き上げるまでの過程(試しに書いてみました)

せいじつさと根気がひつような作業だな…と常々感じています。

## 6. おまけ（おすすめの本！）

### ☆佐原ひかりの永遠のバイブル

■『時をさまようタック』（ナタリーバビット，評論社，1989 年刊）

…少女ウィニーはある夏の日、森の中で「104 歳」の少年と出会う。不老不死の泉の水を飲み永遠の時を生きるタック一家と、その秘密を知ってしまったウィニーのひと夏を描く。

### ☆これぞ本格ファンタジー！

■『炎のタペストリー』（乾石智子，筑摩書房，2019 年刊行 文庫版）

…幼い頃、その力を暴走させたことで「魔法」を奪われてしまった少女エアアル。代わりに得た〈ある能力〉のせいで、エアアルは戦火と国家の陰謀に巻き込まれていく。

### ☆「魔法」ってどういうもの??

■『ほんものの魔法使』（ポール・ギャリコ，東京創元社，2021 年刊行 文庫版）

…名うてのマジシャンたちが暮らす街・マジエイア。そこにある日、「ほんもの」の魔法使・アダムが現れた！アダムは少女ジェインを助手として「魔術」を披露し喝采を浴びるが、その存在はじょじょにマジシャンたちにとって都合の悪いものになっていき……。

### ☆生きるための「ことば」を

■『はじめての短歌』（穂村弘，河出書房新社，2016 年刊行 文庫版）

…新聞やビジネス文書で使われることばと、詩歌や小説で使われることばの違いを、わかりやすく、実作をまじえて教えてくれる名著。創作にかかわる人は必読だと思います。

ご清聴ありがとうございました！